

平成15年度

多彩な参加団体の連携による

清水港再発見・再活用調査

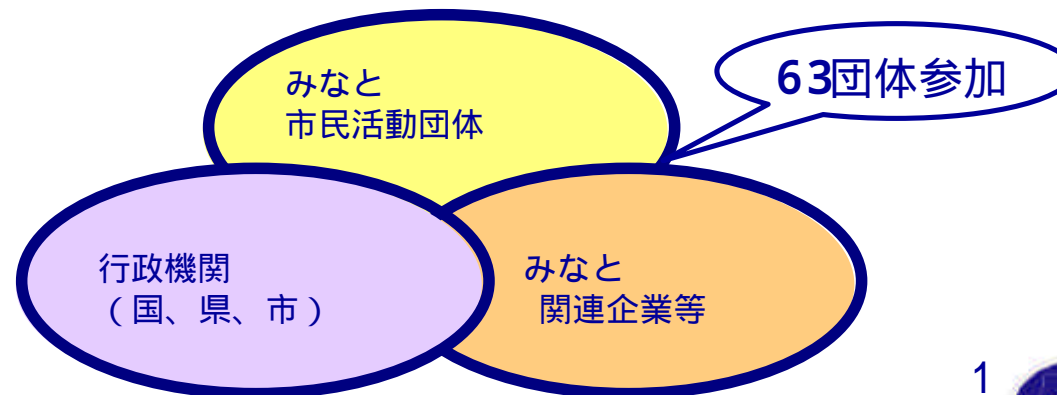


静岡県静岡市



目的

清水港及び周辺をフィールドとして活動する市民、企業、行政の現況活動を明らかにし、清水港の生活・賑わい・観光・学習などのテーマに沿った活動連携や活動拠点の形成を目指すネットワークシステムの検討を行い、具体的な方策としてまとめ、港湾利用のシステムを構築していく。



進め方

活動団体を
知る



参加団体
リスト作成

活動団体を
つなぐ



3つの社会
実験を行う

活動連携を
続ける



連携
を



社会実験

港をきれいに美しくする花植

活動 2月15日 3月10日、21日



清水港ガイド育成研修

活動 2月13日、25日、3月5日、29日



エコマネーを活用した 活動連携のしくみ

活動 2月12日



港をきれいに美しくする花植活動



清水港ガイド育成研修の活動

目的：

清水港を知り、みなとのガイドを育成するための研修を行う。



清水港ガイド育成研修の活動

ガイドテキスト



エコマネーを活用した活動連携のしくみ

目的：

活動を連携させるための道具として「エコマネー」を使用して、どのように連携のしくみができるか試してみる。



アンケート実施

検討会前に2回実施

■アンケート

●アンケート配布・回収
平成30年2月24日～3月3日
配布数 83通（総数調査 104回収）
回収数 33通（回収率 39.8%）

●アンケート質問内容
1 検討会の継続方法について（複数回答可）
2 集まりの頻度（複数回答）
3 エコ活動を実施していること
4 エコ活動を始めた理由
5 エコ活動を始めたきっかけ
6 エコ活動を始めたきっかけ（複数回答）
7 エコ活動を始めた理由
8 エコ活動を始めた理由
9 集まりに必要なことの種類（複数回答）

●アンケート回答内容
1 検討会の継続方法について（複数回答可）
回答は「活動費が不足している」が15（45%）、「集まりの頻度が少なく、会議や活動などの時間が不足している」が7（21%）となっている。
「集費など活動する拠点を確保しない」は回答0であった。

回答理由	回答数	割合
活動費が不足している	15	45%
集まりの頻度が少なく、会議や活動などの時間が不足している	7	21%
集費など活動する拠点を確保しない	0	0%

◆その他の意見

- ・活動の費用確保、人手不足
- ・継続中の事業を引き続き継続していきたい
- ・異なる活動の展開
- ・日の出陣頭が寒い場所としてはっきりと位置づけられていない

3活動上のごとについて（複数回答可）
3-1活動上困っていること
回答は「活動費が不足している」が15（45%）、「集費に時間が無く、会議や活動などの時間が不足している」が7（21%）となっている。
「集費など活動する拠点を確保しない」は回答0であった。

回答理由	回答数	割合
活動費が不足している	15	45%
集費に時間が無く、会議や活動などの時間が不足している	7	21%
集費など活動する拠点を確保しない	0	0%

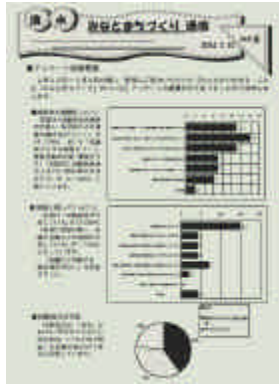
◆その他の意見

- ・活動の費用確保、人手不足
- ・継続中の事業を引き続き継続していきたい
- ・異なる活動の展開
- ・日の出陣頭が寒い場所としてはっきりと位置づけられていない



情報の提供

活動等をニュースで6回情報提



活動連携を続ける

短期

活動団体リストの充実

定期的な活動発表会・交流会

活動連携の機会などの情報提供

情報・交流のプラットフォーム

行政に窓口
(浪漫館 14階利用)

長期

上記の活動

活動連携の企画・運営

活動連携のプラットフォーム

活動団体主体
(活動拠点
浪漫館 14階)



新たな連携活動が始まった・・・

イベント

